

留学報告書:野村歩聖 短期派遣留学(2023/08/20-2023/09/10)

経営コミュニケーション学科学科 03 学年 学生番号 2123238 野村歩望

○留学の日程(学期開始/終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください)

日程	スケジュール
08 月 20 日 (Su)	現地到着
08 月 21 日 (Mo)	授業開始
08 月 26 日 (Sa)	3 連休
08 月 28 日 (Mo)	国民祝日の日
月 日 ( )	
月 日 ( )	
月 日 ( )	
月 日 ( )	
月 日 ( )	
月 日 ( )	
09 月 08 日 (Fri)	授業終了 & 英国出発
09 月 11 日 (Mo)	日本帰国

## 留学報告レポート

留学生活全般について、①留学目的の達成度②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化、③今後の長期留学の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

①私の今回の留学の目的は現地の異文化に馴染み、英語での授業形態にしっかりとなれるということであった。3 週間という短い留学期間であったが、私はこの二つのどちらもくまなく達成できたと思う。というのも、私は英国に滞在している間に授業と外出をバランスよく行いまじめに授業を受け、授業後はいろんな場所へリフレッシュに行く等行動していた。ロンドンの町中のみならず郊外を電車を使ってまで探索することで、ロンドンだけではない新たな地域での異文化や現地の空気になじむことが出来たと感じる。私はロンドン以外にレスターという町へ遠出した。日本の選手が所属していたフットボールの地域として有名な場所だ。そこで私はロンドン郊外、いわゆる地方での生活をこの身で感じていろいろな新しい発見をすることが出来た。また、講義に関してだが私は今まで英語で対面形式で授業を受けるということがなかったため、最初に受けた際は非常に新鮮ではあったものの全くついていくことのできない状態であった。しかし、三週間の間の 14 日毎日しっかりと授業に参加して英語の講義になれることで、ディスカッションも座学も問題ない程度になれることが出来るようになっていた。これは、私の留学の目標の達成として非常に多いなるものであると思う。

②私は留学以前は海外に行ったことがほとんどなく、また国際関係や国際理解の科目も自分から進んで学習することがなかった。しかし、今回英国という土地を通じて国際関係学を学ぶことで、いま世界がどのような状況であるのか、またどのような解決策が必要になっていくのかを客観視しつつしっかりと身にしみこませることが出来た。日本から見た日本と、英国から見た日本は全く異なっていたし、世界に対する見解さえも違っていたため、教授の一つ一つの言葉を聞くこと自体が国際交流になっていた。このような非常に集中的な授業を受け、私は国際関係や国際政治に対して非常に興味を持つようになった。私の学科の専攻は経済学と経営学だが、世界を相手する人材として活躍するために国際関係の知識をつけていくのは必須だなと思った。

③私は今後の留学計画として、大学卒業後の大学院留学を計画している。大学院では国際経済学か国際政治学を学び、世界情勢に対する意識や知識を英国という地で再び学び、世界に通用する人材としてさらなる知識を深めていきたいと思っている。このためにいま私は大学院留学を目標として行動しており、奨学金獲得や入学選考通過など、さまざまなイベントへ向けて全力を出していこうという気持ちだ。そういう意味では、今回の留学は火付け役として非常に効用があったものであると強く感じている。英国という地を 3 週間の短い期間ではあるが知る事が出来たために、大学院留学への意志固めや基礎知識を獲得することが出来たと思う。総額 100 万に近い非常に高級な旅であったが、その対価として素晴らしいものが獲得できた、非常に有意義なものであったと私は思っている。